岐阜純福音教会　　２０１６年9月4日　第２０７号

オアシス通信

GIFU FULL GOSPEL CHURCH 岐阜純福音教会

盛況サマーフェスティバル

八月二十日（土）午後五時半からサマーフェスティバルが開催されました。教会学校、えいごであそぼ、ひかりのこども、マムズジョイ、ポニーに来て下さっている方々をはじめ大勢の方が参加されました。また、初めて来て下さった方もおられ、全部で約百名が参加されました。

今回の講師として川本やすひこ先生ご夫妻が「神さまはいつでも赦して下さる」「神さまを第一にするとすべてのものが備えられる」という話しをして下さいました。天候が心配されたため室内で行われましたが、大盛況でした。

主の壮大な御業知る　ローザンヌ大会

八月三日から十日、インドネシアで開催されたローザンヌＹＬＧ２０１６大会に日本からの代表の一人として参加させて頂きました。ローザンヌ運動は、一九七四年にビリー・グラハム師によって創設され、世界的なリーダー達に導かれてきた世界宣教運動です。今回は十年に一度の大会で、世界百六十ヵ国以上から若手リーダー約千名が集い、これからの世界宣教の戦略会議・大会となりました。迫害の中にある中東やアフリカの国々、アジアの閉ざされた国々からも参加者があり、生の報告がありました。

言語、人種も異なる世界中の参加者との礼拝は、まさに「天での礼拝」を体験しているようでした。世界中のリーダー達と出会い、祈り合う中で、世界全体でなされている主の壮大な御業と計画の中に日本、そして私達の教会があることに改めて気づかされ、励まされました。（小山健）

海外宣教の日礼拝

八月二十一日の海外宣教の日礼拝では小山先生がローマ人への手紙からメッセージし、米国ボストンで日本人伝道の働きをされている武田考平先生が証をされました。海外宣教の日は一九五七年八月にピーター・ボルゲ先生ご夫妻が当時の稲葉郡那加町で開拓伝道を開始されたことを記念し、毎年八月第三聖日を当てています。またボルゲ基金は八八年十月十六日（ボルゲ先生ご夫妻の岐阜純福音教会の宣教師としての最終奉仕日）の出席者の賛同により承認され、十二月一日に設立されました。

目的は①海外伝道・宣教活動などに関わる支援をする②主の御業のすばらしさを後々まで伝え、教会員の信仰生活の励みとする③シアトルのフィラデルフィア教会への感謝と相互親善を深める―ことです。

土地建物が献げられました

教会第二駐車場の東に隣接する土地と二軒の建物が、森家から教会へ捧げられました。どの様に用いていくか、知恵と必要が与えられるようお祈り下さい。また、茂っていた雑木の伐採や草引きにも多くの兄弟姉妹がご奉仕下さり、順調に作業が進んでいます。

天の山清掃

８月６日（土）８時から天の山の清掃を行いました。今回は教会員の方にも加わって頂きありがたいご遺族と合わせ20名の参加がありました。入口から坂を見上げた時には、草が茂り大変な作業かと思いましたが、兄姉の作業がとてもスムーズであっという間に終えることができました。また、作業中や作業後の交わりの時間でした。猛暑の中、ご参加下さった皆様のご奉仕に感謝します。